

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	英語ⅡC (English II C)					担当教員	Paul Edwards (ポール エドワーズ)	
2020-23 年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目／知識定着・確認 型 AL／協同学修型 AL
	2011-0-21-012	教養科目	必修	2 単位	2 年次	通年		
2024-25 年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目／知識定着・確認 型 AL／協同学修型 AL
	2411-0-21-010	教養科目	必修	2 単位	2 年次	通年		

① 授業のねらい・概要
グローバル社会に対応すべく、長岡を訪れる英語話者と、またはその他の場面においても、コミュニケーション能力を伴う十分な英会話力を身に付けることを目的とする。ネイティブ英語スピーカーの講師とのインタラクティブな練習、クラスメイトとの実践練習が主となる。そのレベルに伴う文法知識、語彙力、リーディング・ライティング力も学習する。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
コミュニケーション能力
③ 授業の進め方・指示事項
教科書に沿った題材での文法・語彙学習、ペア、または小グループでの会話、意見交換、ディスカッション。教科書の題材に合わせたプリント学習。 長岡大学米百俵ドリル「スタンダードコース」の自習。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
特に無し
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。
・ピーター ビンセント他 (2020)『Speaking of People Intro』南雲堂 ・英和和英辞典または電子辞書
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
特に無し
⑦ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
授業では全員参加型アクティビティが多用されるため、「英語マインド」に意識を切替えた、積極的な参加態度が期待される。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 英語でコミュニケーション可能なスピーキング力 (ii) 英語でコミュニケーション可能なリスニング力 (iii) 英語でコミュニケーション可能なスピーキング力、リスニング力を裏付けるライティング力

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) スピーキング	教科書で学習する日常英会話を流暢さと明確さにおいて優れたレベルで使いこなすことができる。	教科書で学習する日常英会話を流暢で明確に使う事ができる。	教科書で学習する日常英会話を平均以上の流暢さと明確さで使う事ができる。	教科書で学習する日常英会話を平均的な流暢さと明確さで使う事ができる。	教科書で学習する日常英会話を流暢さと明確さを持って使う事ができない。
(ii) リスニング	英語の内容や意味を容易に聞き分け理解する事ができ、また質問や求められた事柄に対して、非常に的確に応じることができる。	英語の内容や意味を聞き分け理解する事ができ、また質問や求められた事柄に対して、的確に応じることができる。	英語の内容や意味のほとんどを聞き分け理解する事ができ、また質問や求められた事柄に対して、概ね的確に応じることができる。	英語の内容や意味を平均的なレベルで聞き分け理解し、また質問や求められた事柄に対し、対応はできるが的確さに欠ける。	英語の内容や意味を聞き分け理解力、対応力が平均以下である。
(iii) ライティング	教科書で学習した内容について、正しい文法で秀でたレベルの流暢さ、明瞭さのある文章を書く事ができる。	教科書で学習した内容について、文法間違いはほとんど無く、高いレベルの流暢で明瞭な文章を書く事ができる。	教科書で学習した内容について、いくつかの文法間違いはあるものの、平均を上回る流暢で明瞭な文章を書く事ができる。	教科書で学習した内容について、文法間違いはあるものの、平均的な流暢で明瞭な文章を書く事ができる。	教科書で学習した内容について、文法間違いが多く、最低限の流暢さ、明瞭さを持って文章を書く事ができない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%		30%		100%
(i) スピーキング					20%		20%
(ii) リスニング	10%		10%		10%		30%
(iii)ライティング	40%		10%				50%
フィードバックの方法	テスト結果は授業内で返却して解説する。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	Course and textbook introduction and year plan Background information activity	授業の振り返り	90 分
2	Background Information Partner Introductions Text: Unit1 Introductions	授業で学習したテキストページ、自己紹介、パートナー紹介の復習	90 分
3	Partner Introduction Text: Unit1 Introductions	授業で学習した自己紹介の仕方の復習	90 分
4	Text: Unit2 What Do You Do? / Print	授業で学習した職業について復習	90 分
5	Text: Unit2 Text: Unit3 I' m Busy!	授業で学習した形容詞の復習	90 分
6	Text: Unit3 I' m Busy! / Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分
7	Text: Unit5 People And Places	授業で学習した職業の表現の復習	90 分
8	Text: Unit5 / Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分
9	Text: Unit7 Personality	授業で学習した人格表現の復習	90 分
10	Text: Unit7 / Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分
11	Text: Unit8 Tell Me About Your Family	授業で学習した家族や人々の表現の復習	90 分
12	Text: Unit8 Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分
13	Text: Unit9 Feelings	授業で学習した感情表現の復習	90 分
14	Text: Unit9 / Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分
15	試験前まとめ	試験に備えたユニットの復習	90 分
16	Summer Holidays	授業で学習した過去形の表現の復習	90 分
17	Summer Holidays	授業で学習した過去形の表現の復習	90 分
18	Text: Unit10 Communication / Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分
19	Text: Unit10	授業で学習したコミュニケーション表現の復習	90 分
20	Text: Unit11 Memories	授業で学習した過去形の復習	90 分
21	Halloween / Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分
22	Text: Unit11 / Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分
23	Text: Unit12 Into the Future	授業で学習した未来形の復習	90 分
24	Text: Unit12	授業で学習した未来形の復習	90 分
25	Text: Unit12 / Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分

26	Text: Unit4 What Does She Look Like?	授業で学習した人物紹介の復習	90 分
27	Text: Unit4 / Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分
28	Christmas / Print	授業で学習した配布物に基づいた復習	90 分
29	試験前まとめ	試験に備えた学習	90 分
30	試験前まとめ	試験に備えた学習	90 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL／協同学修型 AL を採用

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性